

平成29年度第1回古河市子ども・子育て会議 摘録

日 時	平成29年6月29日(木) 14:00~16:00
場 所	古河市役所総和庁舎 第二庁舎3階会議室1・2
出席委員	江原 誠 (PTA連絡協議会)、山本 幸江 (保育園・保育所保護者会) 宇津木 祐喜子 (幼稚園保護者会)、飯山 由美 (自然育児の会・よちよちクラブ) 野口 保子 (健康づくり協力員)、橋本 英三 (企業)、 齋藤 紀子 (民生委員児童委員)、新谷 和世 (子ども会育成連合会) 牧川 剛 (市立私立幼稚園・認定こども園連合会)、工藤 義人 (民間保育園協議会) 楠田 和仁 (子ども・子育て会議前副会長・青少年相談員)、小林 淳子 (公募)
欠席委員	稲見 裕子 (病院・保育設置事業所)、大高 滋 (障害児父母の会連合会)、 松本 智子 (教育委員)、深津 恭子 (校長会)、
事務局	尾花 仁 (健康福祉部参事兼子ども福祉課長) 岡安 伸征 (子ども福祉課副参事) 池澤 健嗣 (子ども福祉課課長補佐) 樋口 和久 (子ども福祉課係長) 川原 康寛 (子ども福祉課主事)
内 容	●事務局紹介 ●子ども・子育て会議 (1) 子育て拠点整備事業(上辺見保育所)について (2) 待機児童数と古河市の保育環境について (3) その他
事務局 楠田会長 橋本委員 事務局 橋本委員 事務局 新谷委員	<p>【事務局紹介】</p> <p>《4月1日の組織再編、定期異動に伴い、事務局員が変更となったため挨拶を行った。》</p> <p>【子ども・子育て会議】</p> <p>《議事》</p> <p>(1) 子育て拠点整備事業(上辺見保育所)について</p> <p>事務局からの資料1に基づき説明</p> <p>事務局からの資料1についての説明は終了しました。皆様のご意見を求めます。</p> <p>本施設については、車いすの方も来るとはありますが、バリアフリーについてはどのように考えていますか。</p> <p>多目的トイレを設置するなど、バリアフリーに対応した施設計画をしているところです。</p> <p>近年、盛んにエコに対する動きも出てきていますが、省電力などの配慮はどうなっていますか。</p> <p>基本設計のなかで、屋根の上に太陽光パネルを設置することを検討しましたが、費用対効果を考え、設置しないこととしました。</p> <p>保育室内に南側屋根面ドーマー窓から外光を取り入れる光天井を設置し、自然エネルギーを有効活用することで、省エネルギーに配慮しているところです。</p> <p>体調不良児の保育室活用に関する説明がありましたが、この保育室は保育中に発熱した場合に保護者が迎えに来るまでの間に使うものでしょうか、仕事が休めない場合にそのまま預けられるものでしょうか。</p>

事務局	また、市内に病児病後児保育を行っている園はあるのでしょうか。 保育中に発熱した場合、迎えまでの間に使用する体調不良児の対応を想定しています。 病児・病後児保育は、看護室を設けるタイプ、今回の体調不良児対応のタイプ、訪問型のタイプに分類され、民間では2園が体調不良児に対応しているところです。
江原委員	こちらの施設では送迎バスはありますか。 また、古河市全体から通うようになるのでしょうか。車での送迎となると近所の渋滞や違法駐車も発生するのではないのでしょうか。
事務局	送迎バスはありません。 また、現在の上辺見保育所については、卒園後に通学する小学校のことも考慮し、近隣から通っている状況にあります。 6月17日の地元説明会でも地域住民から同様の意見があり、現在の上辺見保育所の登所時刻を調査しました。調査の結果では、特定の時間に集中して登所するのではなく、ある程度分散しているという結果になりました。敷地への進入方向やきょうだいでの通所を考慮し、右折レーンを設けることで、影響を最小限にしたいと考えています。
江原委員	運動会などの保護者が増えるイベント時の駐車場確保についてはどのように考えていますか。
事務局	敷地の西側部分についても、子育て拠点施設の整備を考えていますが、具体的に動き出すまでは駐車場として利用できるようにしたいと考えています。
江原委員	今回の整備場所は病院跡地ということですが、そのような場所に建設することに関してはどのように考えていますか。
事務局	保護者や住民への説明会を実施しましたが、そのような話については出てきていない状況です。
新谷委員	近年、不審者情報も増えてきています。通行人から園庭など内部はどの程度見えるのでしょうか。プールもあるので、不審者対策には注意して欲しいと考えます。
事務局	東側は目隠しフェンスの設置を予定しています。南側はメッシュフェンスとなりますが、建物の窓の高さを工夫し、子どもの目の高さにならないところに設置する予定です。
工藤委員	ニュースでは大きな反対を地元から受けるような事例があるが、そのような反対はなかったのでしょうか。
事務局	様々なご意見をいただきましたが、大きな反対はありませんでした。
工藤委員	子育て支援センターの設置は予定されていないのでしょうか。
事務局	昨年度、駅前子育て広場をオープンし、子育て支援センターを設けたところなので、今回の計画からは除いています。今後のニーズを見ながら検討していきます。
工藤委員	不審者対策として防犯カメラはどの程度設置するのでしょうか。
事務局	建物外に防犯カメラを設置する予定です。現在、実施設計中で詳細を詰めている状況です。
工藤委員	災害時の避難経路や避難場所はどのように計画しているのでしょうか。
事務局	災害の種類にもよると考えますが、例えば水害であった場合、東側道路が標高で言うと高い部分になります。南側は園庭側から、北側は各保育室の北側に非常口があるので、

	<p>そちらから避難するという経路を想定しています。</p> <p>避難場所についてはユースセンターです。</p>
工藤委員 事務局	<p>参考までに、事業費、職員予定数、日赤跡地は元々市の所有だったのか教えてください。</p> <p>事業費については予算ベースで7億円程度です。</p> <p>職員予定数は最大44名程度を想定しています。</p> <p>日赤跡地の用地については、元々は市の所有でした。</p>
楠田会長	<p>他に何かありますか。では、続いて議題2に入ります。事務局の説明をお願いします。</p> <p>《議事》</p> <p>(2) 待機児童数と古河市の保育環境について</p>
事務局	<p>資料2に基づき説明</p>
新谷委員	<p>待機児童には、認可外施設に入所している児童も含まれているのでしょうか。</p>
事務局	<p>認可外の施設であるため、待機児童のうち何名が認可外施設に入所しているか把握はしていません。認可外施設に入所している児童がいる可能性はあります。</p>
新谷委員	<p>働きたいお母さん達は多少高い料金を支払い認可外に預ける方もいるし、預けずに働かないお母さんもいるということでしょうか。</p>
事務局	<p>お見込みのとおりです。</p> <p>ただし、認可施設の保育料は、所得別に階層が分かれており、一概に認可外が高いとは言えない状況です。</p>
橋本委員	<p>待機児童のカウントにおいて、要件該当によって除かれる児童がいるとのことですが、どのような要件があるのでしょうか。</p> <p>また、年度によってカウント手法が変わるとのことですが、どのような違いがあるのでしょうか。</p>
事務局	<p>要件はいくつかあり、代表的なものとしては、保護者が利用可能な保育所等の情報提供を行っても、特定の保育所等を希望している場合や012保育ルームを活用している場合などは待機児童から除くことになっています。</p> <p>また、昨年度との違いについては、細かい部分にはなりますが、昨年度は「他に利用可能な施設があるにも関わらず特定の保育所等を希望する場合は待機児童に含めない。」と示していましたが、今年度は「保護者の意向を丁寧に確認し、利用可能な保育所等の情報提供を行ったうえで、特定の施設を希望する場合は待機児童に含めない。」と示された部分があります。また、育児休業中の取り扱いにおいて、昨年度は「待機児童に含めないことができる。」となっていたが、今年度は「保育所等に入所できたときに復職する意向が確認できる場合は待機児童に含め、確認できない場合は待機児童に含めない。」といったように、自治体間でバラつきのあった部分が明確化されているような状況です。</p> <p>来年度の4月には待機児童の定義が全国で統一される予定なので、引き続きカウント手法について精査をしていく必要があると考えています。</p>
橋本委員	<p>ということは、実質的な待機児童はもっといるということでしょうか。</p>
事務局	<p>待機児童は国の示した要件に合せてカウントしていますが、いわゆる“潜在的待機児童”は38名以上いるということになります。</p>

飯山委員	保育士が不足していて受け入れられないという現状はないのでしょうか。
事務局	全国同様に古河市においてもそのような現状はあります。
飯山委員	都内では、保育士に対し住宅手当を出すなどの取組を行っているようですが、そのような改善策は行っていないのでしょうか。
事務局	保育士については、入所判定時に点数を加算することで、働ける保育士を少しでも確保するための取組を行っています。
飯山委員	民間の保育園の保育士も対象になるのでしょうか。
事務局	もちろん民間の保育園に勤務する場合も同様となります。
江原委員	保育所は専業主婦であっても入所できるものなのでしょうか。
事務局	基本的には、家庭の中でお子さんを見る事が出来る方がいない家庭となります。
江原委員	専業主婦で子どもが4、5人いてもその場合は該当にならないということでしょうか。
事務局	子どもの数ではなく、就労をしているか否かであるため、該当にならないということになります。
工藤委員	保育士不足は特に2月3月あたりから深刻で、様々な手法で集めています。 東京都では住宅手当や処遇改善が行われており、つくば市や埼玉県内の市町村でも賃金の上乗せや仕度金の支給などを行っています。古河市においても先ほどの入所判定時の保育士の点数加算はとてもいいことだと思うので、保育士確保策を是非ともお願いしたいと思います。 また、時給で雇う場合は、時給1,000円で集まらなかったため、時給1,050円にして募集をしているがなかなか集まらない状況にあります。一方、公立は時給を1,200円に上げましたが、民間ではなかなか1,200円という設定は出来ず、より一層保育士が集めづらい環境になっています。申し訳ないが、公立と民間の差を埋めてもらいたいというのが、現状です。
新谷委員	2月3月に実習で来ていた方が4月に採用となったが、入園式の翌日に退職するという事例が市内にありました。園長先生になぜ退職してしまったのか尋ねたところ、歌や踊りなどはとても楽しくされていたが、排せつの処理が本人にとって大変であったようだとのことでした。各園におかれては、保育を目指す皆さんに対し、楽しい部分だけの実習ではなく、大変な部分についても実習に取り入れた方がいいのではないかと感じています。
牧川委員	現場の園長としてやはり感じるのは、保育士や幼稚園教諭をどうやって確保していくかが、どの会議に行っても話題になります。県でも潜在保育士について、課題ととらえており、保育士の保育料の負担を軽減するなどの取組を行い、潜在保育士の発掘に力を入れています。 3年前から始まった認定こども園という制度は多くの職員を必要とする制度ですが、少子化の影響もあり、なかなか保育士が確保出来ないことに加え、茨城県私立幼稚園退職基金財団によると昨年の7月までに退職した職員が前年の倍であるとのことでした。先ほど実習でしっかりやって欲しいとのこともありましたが、幼稚園は楽しいと伝えないと実習時点で辞めてしまう他、体調を崩す学生も増えてきているのが現状です。

	従来と違ったかたちで対応しないといけなく、保育士の確保に苦勞し、子どもを預かることが出来ないという現状です。
工藤委員	実習生については、とても気を使っています。繊細な部分もあるため、休んでしまうこともあります。やりがいのある仕事であることを伝え、しっかりと実習を行い、採用してからもしっかりと育てることに力を注いでいます。
楠田会長	このような現状を踏まえて、公立と民間の役割について近い将来どのように進めて行こうと考えているのでしょうか。
事務局	市ではこれからの公立保育所をどのように展開して行こうかというプランを現在策定しているところです。6月の定例議会において市長からも公立保育所のあり方についてプランニングしていくとありましたとおり、今年度中に皆様にお示ししたいと考えています。官民が競合するのではなく住み分けを行い、民間でできる部分は民間で、公立でカバーできる部分は公立でということで、共存共栄できる方向性を出して行きたいと考えています。
工藤委員	住み分けということですが、全国的には公立保育所を民間に移行していくという流れがありますが、古河市だけは実を言うと民間移行が進んでいない現状にあります。公立では障がい児を多く受け入れているという現状もあるので、住み分けを行い進めていけたらいいかなと思います。
新谷委員	現代の親は働いていたりするので、とても忙しい生活を行っています。そのような中で、親同士が子育てについて悩みを話あったりする親同士のつながりを作るような取組を公立保育所では行っていないのでしょうか。
事務局	現在、公立保育所では2カ所、民間で4カ所、その他として駅前子育て広場に1カ所の子育て支援センターがあります。子育て支援センターでは、同じ子育て中の仲間との交流、育児についての不安や悩みの相談、講習会の開催などを行い、親子の交流や親同士のつながりを作って欲しいと考えています。利用する最初の一步は勇気がいると思いますが、子育て支援センターで悩みを共有し“こころのよりどころ”としてあって欲しいと思っています。
牧川委員	認定こども園や幼稚園でも未就園児親子教室として、殆どの幼稚園でも同様のことを行っています。親同士の悩み等が共有できるように各園とも力を入れて取り組んでいる現状にあります。
工藤委員	当園の子育て支援センターでは、障がい児のお子様に対する相談に力を入れており、西南医療センターの先生や保健所の方が来て相談が出来たりする環境となっています。また、母親同士の自主性を高めるためサークルを作って行う活動も推進しています。
新谷委員	民生委員をしているため、虐待についても話題に出ることがあります。育児をされている方の“よりどころ”や“親としての心の成長”となるようなシステムがあることはありがたいことだと思います。
	教育委員会でも親学習プログラムも行っているのですが、そういったものが取り入れられるか検討してもよいと思います。
橋本委員	資料2の全国の就業率に関する数値が③番と④番で違うがなぜ違うのでしょうか。

事務局	③番については、国の「子育て安心プラン」の見込みを示すため労働力調査を用い作成したものと、④番は全国と古河市の比較のため国勢調査を用い作成をしたものであるため出典が違います。また労働力調査は標本調査となっているため、数値は一致しません。
牧川委員	入所希望者 775 名は古河市内の方だけの数値なのでしょうか。また、待機児童 38 名ということでしたが、4 月 1 日時点で定員空きのある施設の空き状況が分かれば教えてください。
事務局	入所希望者には利用調整をした人数ですので、市外の方も含まれています。また、各施設の空き状況については、民間の情報ということもあるので資料には掲載しておりません。
牧川委員	新制度になり保育料が統一されたところですが、今後保育料の変更はあるのでしょうか。県西地区は全体的に高いようですが、先日引っ越してきた保護者に古河市は保育料が高いのですねと言われたので、今後の保護者の負担も考えて予定を聞かせてください。
事務局	3 年前に保育料を設定する際は、1 号は各園の平均値とさせていただきました。2 号 3 号についても、従来の保育料と同程度の金額を設定させていただいたところです。古河市の金額が高いというご意見をいただきましたが、どの階層を抽出するかで変わってきてしまうものです。東洋経済の比較資料を以前に参照した際には、県内でも中位に位置していた記憶があります。捉え方の違いということでご理解ください。古河市の傾向としては、比較的、低所得者には低めの金額、高所得者には高めの金額が設定してある状況です。見直しについては、予定はありませんが、慎重に検討していかなければならないと考えています。
工藤委員	人口減少が見込まれるとあるが、定員増や新規参入の園などについては、慎重に判断していくことでよろしいでしょうか。
事務局	保育所を開所したいと大・小様々な規模のお問い合わせをいただいております。特に小規模を開所したいという場合は、連携施設を確保できる見込みはあるかについて、指摘をさせていただいています。すると、連携施設がなかなか確保できず進まないという現状にあります。小規模以外についても、施設数を増やすということについては、今後慎重に考えていく必要があると考えています。
橋本委員	育児休暇明けも引き続き働き続けられる環境があることで、市の歳入の増加に寄与することになると考えます。企業への育児休暇後の復職の推進などについて、どのように施策を展開しているのでしょうか。また、幼稚園や保育所の児童への送り迎えがありますが、小学生の安全確保という面では、地域ぐるみで安全確保をしていく必要があると考えています。事件が起きる前に対策が必要だと思うので、現状どのような取り組みをしているのか教えてください。
事務局	働きやすい環境づくりについては、各企業の取組の部分もあり、なかなか市町村から対応していくというのは難しい状況にあります。保育所の入所申請があった場合に、個別に会社の育児休業はどうなっていますかというような案内をしています。また、小学生に対する安全確保については、地域でのパトロールを行っている他、青少

	年相談員といった制度も実施しているところです。
新谷委員	小学生の防犯対策について、学校では不審者対策を学期に1回ずつ訓練を行っています。また、防犯協会の女性部にて市内23校で防犯教室を行っています。
楠田会長	学校や様々な団体が防犯意識の向上につながる取組を行っているところです。
工藤委員	小学校の評議委員会があり、先生から給食費の未納の話がありました。保育料の未納も発生している現状を踏まえ、子どもの貧困対策が必要ではないかという点と、支援が必要な子どもの対応について「ぐるんぱ」を拡大出来ないかと前任の落合課長に相談したところ、考えていることがあるということでした。しかし、異動されてしまったので、今後あらためてお願いしたいと思います。
楠田会長	沢山のご意見をいただき、ありがとうございます。今後も様々なご意見をいただけたらと思います。
	【閉会】
事務局	今回は9月ごろに開催したいと考えています。本日はありがとうございました。